

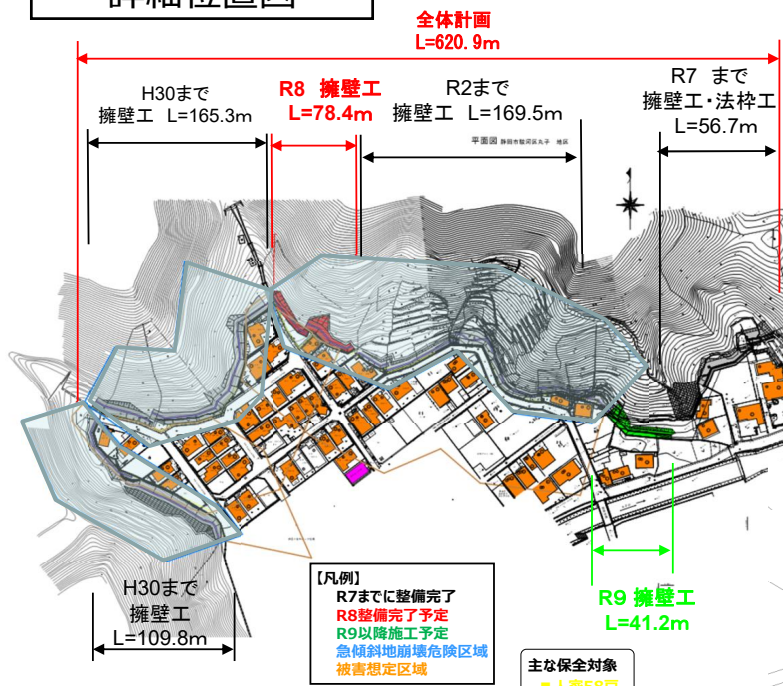
番号	25	令和8年度公共事業再評価調査				担当課名	砂防課																													
事業名	急傾斜地崩壊対策				事業主体	静岡県																														
ふりがな	まりこあかめがや				関係市町	静岡市																														
箇所名	丸子赤目ヶ谷B																																			
事業採択年度	平成24年度			計画期間	平成24年度～令和9年度																															
用地着手年度	平成26年度			工事着手年度	平成27年度																															
再評価理由※	前回再評価後5年経過																																			
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	～R6年度	R7年度	R8年度見込	計																														
	546		393	25	60	478																														
事業概要	(1)事業目的 丸子赤目ヶ谷B地区は、静岡県駿河区の西部に位置し、保全対象に人家58戸及び市道を含む急傾斜地である。当該地区の斜面は荒廃し、豪雨等によるがけ崩れの発生により甚大な被害が懸念されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備し、住民の生命を守るものである。 (2)事業内容 施工延長：621 m 擁壁工：621 m																																			
【視点1】	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が多く発生している。静岡市においても、前回評価後のR4からこれまでに、86件の土砂災害が発生している。当該地区では、過去に、人家裏で豪雨によるがけ崩れが発生しており、再度のがけ崩れの発生により、人家等に被害が及ぶことが懸念されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備する必要がある。 (2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果 (令和8年度時点) <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>21.5</td><td>37.3</td><td>51.1</td><td>28.8%</td></tr></table> ・総便益 (B) 77.4 億円 (平均便益: 5.5億円) ・総費用 (C) 3.6 億円 (建設費: 3.55億円、維持管理費: 0.04億円) ○見込まれる効果 (定性的な効果) ・がけ崩れによる甚大な被害の防止 (3)事業の進捗状況 (令和8年度見込み) <table><tr><td>区分</td><td>進捗率</td><td colspan="2">内 訳</td></tr><tr><td>事業費</td><td>87.5%</td><td colspan="2">(478 百万円 / 546 百万円)</td></tr><tr><td rowspan="2">事業量</td><td>擁壁工</td><td>93.4%</td><td>(580 m / 621 m)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>(m / m)</td></tr><tr><td>用地取得</td><td>90.4%</td><td colspan="2">(5,206 m² / 5,758 m²)</td></tr></table> <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	21.5	37.3	51.1	28.8%	区分	進捗率	内 訳		事業費	87.5%	(478 百万円 / 546 百万円)		事業量	擁壁工	93.4%	(580 m / 621 m)			(m / m)	用地取得	90.4%	(5,206 m ² / 5,758 m ²)		評価	継続が妥当
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																																	
21.5	37.3	51.1	28.8%																																	
区分	進捗率	内 訳																																		
事業費	87.5%	(478 百万円 / 546 百万円)																																		
事業量	擁壁工	93.4%	(580 m / 621 m)																																	
			(m / m)																																	
用地取得	90.4%	(5,206 m ² / 5,758 m ²)																																		
評価	継続が妥当																																			
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 当該地区では、平成27年度から工事に着手しており、令和9年度末までに全体計画620.9mを完成させる予定である。 事業に対する地元の要望は強く、用地取得や借地などの地元調整は円滑に行われており、残り119.6mについても、順調に進捗するものと見込まれ、令和9年度に完成する予定である。 <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							評価	継続が妥当																											
評価	継続が妥当																																			
【視点3】	新たなコスト削減・代替案立案等の可能性 擁壁の設置位置については、残土排出が少なく、擁壁高を抑えられて最も経済的に優れる位置を比較検討により選定した上で決定している。 今後、工事を進める上で、現場発生土について、近隣の工事箇所と調整を図り、運搬費や処分費の低減を図り、コスト削減に努める。																																			
対応方針(案)	(1)対応方針(案) 本事業を【 継続 】する。 (2)理由 事業は順調に進捗しており費用対効果も見込めることから、事業を継続して整備の促進を図る。																																			

1. 事業箇所位置図



2. 事業概要

詳細位置図



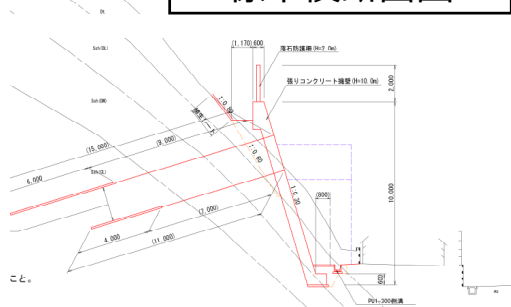
事業目的

丸子赤目ヶ谷B地区は、静岡市葵区に位置し保全対象に人家58戸を含む急傾斜地である。当該地区の斜面は荒廃し、豪雨等によるがけ崩れの発生により甚大な被害が懸念されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備し、住民の生命を守るものである。

事業内容

箇所名：丸子赤目ヶ谷B（静岡市駿河区丸子）
事業費：546百万円
計画期間：平成24年度～令和9年度
全体延長：620.9m
事業内容：擁壁工

標準横断面図



3. 事業概要

前回からの変更点・理由

区 分	前回 (R4)	今回 (R8)	主な変更理由
①計画期間	H24～R7	H24～R9 (+2年)	用地補償内容について理解を得るのに時間を要したため。
②全体事業費	546百万円	546百万円 (±0)	—

4. 事業の投資効果（費用便益比）

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益（B）

総便益 77.35億円

- ☐ 直接被害
 - ・家屋被害、道路被害、人的被害
- ☐ 間接被害
 - ・精神的被害

総費用（C）

総費用 3.59億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果(B/C):21.54 経済的内部収益率(EIRR):28.8%

前回の費用対効果(B/C):4.3

・「砂防事業の費用便益分析マニュアル」の改定に伴い、人的被害額の精神的損害額が2.26億円/人⇒6.01億円/人に上げられたため

5. 今後の事業の進捗の見込み

●事業推進のための取組

- ・用地補償内容について、継続的な用地交渉を実施することで、事業への理解が得られた。
 - ・建設発生土の有効活用を検討し、事業費の縮減に努める。
-